



ほうとくこだより

第1学期を終えて

令和8年 7 月 17 日

小田原市立報徳幼稚園

園長 越川 知香子

園庭の木々の緑が一段と濃くなり、夏の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本園の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。早いもので、4月の入園・進級からあっという間の4ヶ月でした。報徳幼稚園では、年少児が9名、年長児は7名の少人数であることで、5月中旬から複式保育（合同保育）を実施しました。活動の内容によって発達の違いを考慮した関わりを進めてきましたが、それ以上に異年齢の関わりの“よさ”を感じることも多くありました。年少児は、友達や年長児の名前を覚え、名前を呼びながら一緒に遊んだり、あこがれの気持ちをもって関わったりし、年長児は、年少児の見本となることで、年長児としての自覚がさらに芽生え、自信につながっている姿が見られたりしました。一つ一つの経験を積み重ねながら、子どもたちの心も体も大きく育ってきていることをとても嬉しく感じます。



小田原市が目指す子ども像 「未来を創るたくましい子ども」 社会力の育成

～子どもたち一人ひとりが充実した人生を送り、より良い地域社会を創るために～



<教育目標>

心も体も健康な子どもの育成

<目指す幼稚園像>

心豊かに共に育ち合う幼稚園

<目指す子ども像>

- ・明るく元気に挨拶のできる子
- ・友達に優しく関われる子
- ・元気に伸び伸びと遊ぶ

報徳の四つの教え

二宮金次郎生誕の地である城北中学校区では**一体教育**の中で、**二宮尊徳の教え**を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。



まごころ(しせい)

ともだちやせんせいにやさしくせつところ

ちょうどいいくらし(ぶんど)

ものをたいせつにし、むだにしないところ

がんばるちから(きんろう)

じぶんのことはじぶんでやろうとするきもち

ゆずりあい(すいじょう)

ともだちとわけあい、おもいやりのきもち

“ようちえんのうた（園歌）”の歌詞にも二宮金次郎の名前が入っていることで、子どもたちにとって親しみのある人です。今年の開園記念日（5月27日）に“ゆかりのある人”として話をし、『二宮尊徳の四つの教え』を子どもたちに分かりやすく話をすると、とても興味をもって聞く姿がありました。子どもたち一人一人が、日々の園生活の中でこれらの心を少しずつ身に付け、思いやりやたくましさを育ていけるよう、職員一同務めてまいります。

報徳幼稚園では、『目指す子ども像』を達成するために、重点目標①～③を目指し具体的な取組を実践してきました。第1学期の姿をまとめました。

重点目標 ① 「豊かな心」と「健やかな体」を育む



- ・友達や教師と十分にに関わり、生活や遊びを楽しむための環境づくり
- ・幼稚園生活を楽しむための計画の見直し
- ・社会力の育成を通し、認め合い、高め合い、**育ち合う関係づくり**
- ・少人数での保育を考え、**異年齢の関わりを大切にした教育保育**の工夫
- ・飼育活動による感性・愛情・生命の学び
- ・戸外で体を動かして遊ぶことを楽しめる環境づくり
- ・報徳の豊かな自然と地域力を活かした土俵づくりやすもう大会
- ・**栽培活動による食育の推進**
- ・芝生の育成と花や緑の多い環境づくり
- ・『おだわらっ子の約束』や『尊徳思想』を取り入れた生活習慣
- ・道徳性の確立



年長児が、入園してきた年少児を招待して、『**なかよし会**』を行いました。“どんなことをしたら年少さん喜ぶかな？”とイメージしながら、内容を相談して年少さんの喜ぶ顔を楽しみに企画実施してくれました。この取組は、年長児が“小さい子（年少児）のために何かしてあげたい！”という年長児としての自覚が生まれる体験となったのではないかと感じました。

日頃の遊びの中でも、年長児と年少児の自然な関わりが見られます。5月中旬より実施している**複式保育(合同保育)**では、年長児はこれまでの遊びの経験から年少児にとって遊びの“モデル”のようです。年少児は、“年長さんみたいに、これつくりたい！”“どうやってつくるの？”と教えてもらいながら自然なやりとりが見られ、**関わる姿**がありました。



年長児が、年少組のときに植えた**タマネギが収穫**の時期を迎えました。年長児が収穫をすると“おっきいのあった！”と驚くほど立派なタマネギが採れました。これをどうして食べようかと子どもたちと話し合いをすると“カレーにして食べたい！”ということになりました。

タマネギの後には、**ジャガイモの収穫**です。畑を掘り始めると、ゴロゴロとジャガイモが出てきました。“ここにもあった！”“これは、男爵！これはメークイン！”と形のの違いで種類分けをしたり、“これは中ぐらい！”と形や大きさ比べをしたりして楽しむ姿がありました。



“カレーづくりには、どんな材料が必要かな？”と子どもたちで相談をし、“必要な材料を買いに行こう！”ということになりました。あらかじめ、**買い物メモ**をつくり、そのメモをじっと見て、スーパーの中で探検開始！「あった！これだね！」と該当の品物が見つかったら、友達と確認し合う姿がありました。支払いも自分たちで行いました。店員さんに、細かい硬貨を渡し、レシートも受け取ることができました。社会の仕組みを学びきっかけとなりました。

カレーづくり前日、年長児がタマネギの皮をむき、ジャガイモを洗ってくれました。いよいよ待ちに待った“カレーづくりの当日”ジャガイモの皮むきをしたり、“猫の手”で切るよ！と安全に留意しながら、人参、ジャガイモを包丁で切ったりする体験ができました。年少児も応援に来てくれ、年長児もさらに頑張る姿がありました。カレーが出来上がると、“いい匂いがしてきた～！”と待ちきれない様子！出来上がったカレーを“美味しい！”とみんなで味わって食べました。おかわりする子ども多くいて、みるみるうちに鍋が空っぽになりました。また一つ豊かな経験となりました。

重点目標 ②

地域と共にある幼稚園づくり



- ・城北中学校区での互いの教育の理解を深める工夫（保育園・小学校・中学校との交流）
（城北中学校区**一体教育**のテーマ『感謝の気持ちを持ち、主体的に学ぶ子どもの育成』）
- ・**コーディネーターを中心として、ボランティアによる教育環境の充実**
（『絵本読み聞かせ』『布おもちゃで遊ぼう』『芝生化の推進』等）
- ・**未就園児**や子育てサークルとの交流
- ・幼小中合同引取訓練や報徳小との合同避難訓練 等
- ・**地域とのつながり**（『田んぼで遊ぼう』『地域散策』等）



スクールボランティアさんが月に1回『絵本の読み聞かせ』を実施してくれています。毎日、担任が読み聞かせをしています。保護者の方の読み聞かせは、違ったよさがあるようで、真剣に聞き入る姿がありました。また、手づくりのカードを準備してお話をしてくれたり子どもたちが興味をもてるような工夫も見られました。子どもたちのために、ありがとうございました。

報徳小学校1年生と一緒に**豆つづ劇場**の観劇をさせていただきました。演目は『エン・ケラ・ブン』『せんたくかあちゃん』『そらいろのたね』でした。大型紙芝居や絵本はとても見ごたえがあり、お話の世界に引き込まれていくようでした。手づくりのカーテンシアターの長さにも驚く姿がありました。

地域にお住まいの朝倉さんが、手作りの『**布おもちゃ**』で**遊ぶ会**を開催してくれました。たくさんの“手づくり布絵本・玩具”をご用意いただくと、子どもたちは夢中で長時間遊ぶ様子がありました。また、腹話術の“けんちゃん”が登場するととても驚き、食い入るように見ていました。豊かな体験となりました。



城北中学校の3年生が運動会で踊るために練習を積み重ねてきた“ソーラン節”を園児たちに披露してくれました。地域の保育園と一緒に見学させてもらい、真剣な表情で踊る中学生の姿に圧倒され、目を離さずに見入る子どもたちの姿がありました。刺激を受けて“自分たちも踊りたい！”という声も聞かれました。

報徳小学校との幼小交流として、4年生の捨て苗田植え見学をさせてもらいました。一列に並んで等間隔に苗を植えていく4年生の姿を見ることができました。田んぼが尊徳記念館の近くにあるので、尊徳記念館が見えると“ようちえんの歌に出てくる金次郎さんのお家だ！”と大好きな園歌と結びつけて嬉しそうにする姿がありました。

月に2回、**ようちえん DE 遊ぼう！**を実施しています。**未就園児**が遊びに来て、園児たちと遊びます。最後にリズムや読み聞かせをして幼稚園のことを知ってもらい、気軽に園に来てもらえるようにしています。帰りに“また遊ぼうね”と“タッチ”をして見送ると、次回を楽しみにする様子がありました。



『**おでかけマップ**』の作成により、子どもたちに**地域への関心が高まってきている**ことを感じます。実際に行った場所を確認したり、距離感を感じたり、行ったことのない所を見つけて“今度は〇〇へ行ってみたい！”と次への意欲的な言葉も聞かれます。報徳地域への愛着につながるとよいと思います。



片道50分かけて**保育園大空**まで歩いて行き保育園の友達と一緒にバールダンスを観たり経験させてもらったりしました。バールは絹の生地を使用しているので、肌触りがよく、大判にも関わらず、子どもたちが無理なくひらひらと動かすことができました。大空の友達と一緒に音楽に合わせて楽しく踊る体験ができました。

重点目標 ③ 教職員の資質向上



○教育の資質向上

・令和8年度 園内研究の充実

研究テーマ「**幼児の主体性を育むための教師の資質向上**」

サブテーマ **～地域性を活かした保育(園外散歩を通して)～**

- ・計画的な実施
- ・計画的、効率的な仕事への取り組みを考える
- ・振り返り
- ・園内研修(支援教育)の充実
- ・講演会、研修会への積極的な参加

○ICTの活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進

○信頼関係の形成

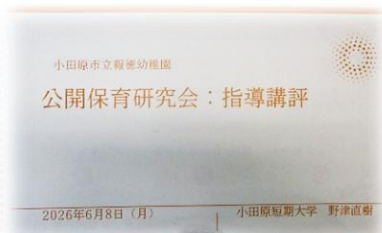
・報告・連絡・相談の徹底

○地域行事への積極的な参加

【令和8年度 研究のねらい】

○園外散歩を通して、地域に興味・関心をもち、経験や気づきを積み重ねながら、遊びや学びに関わる力を育む。

○教師自身が園外散歩における環境構成や援助、振り返りの在り方を見直し、幼児の主体性を引き出す関わりについて探る。



上記の研究のねらいを達成するため、また、**質の高い幼児教育**、「目指す子ども像」を目指し、今年度は研究推進のために小田原短期大学の野津先生に指導講師を依頼し、研究を推進しています。また、職員間で望ましい環境構成や教育活動について、日々話し合いの時間を大切にしています。一人一人の発達に応じた対応を配慮しながら、幼児期にふさわしい遊びを通して資質能力を育てていくためには、職員間の共通理解と連携がとても大切になってきます。子どもたちの実態に即した教育実践が充実し、質の向上につながると考えています。



年に2回開催される『**幼稚園関係者委員会**』は、自治会長や、民生委員、スクールボランティアの方々と構成されています。今年度の1回目は5月19日に開催されました。幼稚園経営、教育方針や教育活動について取組を説明させていただき、評価やご助言をもとに、教育内容や環境改善のヒントをいただいています。幼稚園のよき協力者となっていただいています。

これから夏休みを迎えます。ご家族との時間を大切にしながら、事故や怪我、熱中症には十分に気をつけて、楽しい思い出をたくさん重ねていただければ幸いです。また、ご家庭でのお手伝いなど、一つでも「**役割**」をもつことで**子どもたちの心は大きく成長**していきます。第2学期にさらに成長した子どもたちに会えることを、職員一同楽しみにしております。

報徳幼稚園の園歌です。

お子さんと一緒に歌ってみてください

ほうとくようちえんのうた(園歌)

- 1 むかし **にのみや きんじろうさん** うまれてそだったところです。
なたねばたけのはなざかり もんしろちょうちんのおともだち
なかよくあそんだところです
ほうとくほうとくようちえん なかよし ほうとくようちえん
- 2 ここは ほうとくようちえん よいこのあつまるところです
つよくやさしくすくすくと あかるくげんきにむねはって
みんなでがんばるところです
ほうとくほうとくようちえん みんなの ほうとくようちえん

